

2期計画を振り返って、見えてきたこと

野庭住宅地区は、地域福祉保健計画が策定されるずっと前から夏祭りや福祉フェスタ&チャリティバザーなど、連自治会・地区社協が一体となって住民の交流やふれあいを大切にするための行事を行ってきました。

また、各自治会で趣向を凝らして花植え運動や高齢者サロン、家具転倒防止器具の設置などを行い、地域の中で見守り・支えあい活動に取り組んでいます。

今後、ますます高齢化する中で、今以上に地域のなかでの支えあいやつながり作りが重要になってきます。野庭住宅の良さを活かしつつ、活動を継続していくために、どうやって地域の中で担い手を増やしていくか。役員だけではなく、住民一人ひとりが自分の事として捉えるためにはどうしたらよいかを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

住民アンケート調査の結果

平成27年4月～5月実施 回答数:2,023件(回答率61.3%)

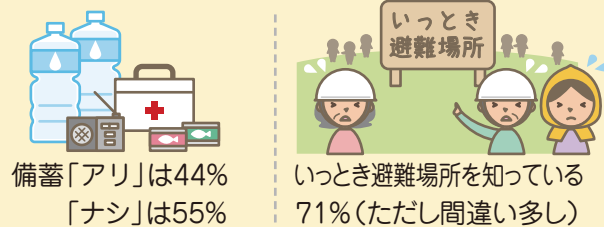
野庭住宅の好きなところ・住んで良かったところベスト3



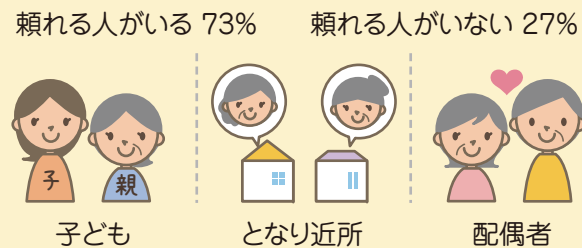
野庭住宅で不安なこと



防災・減災について



見守り・支えあい



3大 地域活動・行事 ～参加している・参加したい・手伝いたい～



やってもいいと思う自治会などの役員ベスト3



保存版

第3期 野庭住宅地区地域福祉保健計画



野庭

にじいろさんご プラン

～明るく住みよいあいさつのある野庭住宅を目指して～

「にじいろさんご」
とは...

各自治会の2・4・1・6・3・5の語呂合わせで、未来への懸け橋である虹のように光り輝いてほしいという願いが込められています。

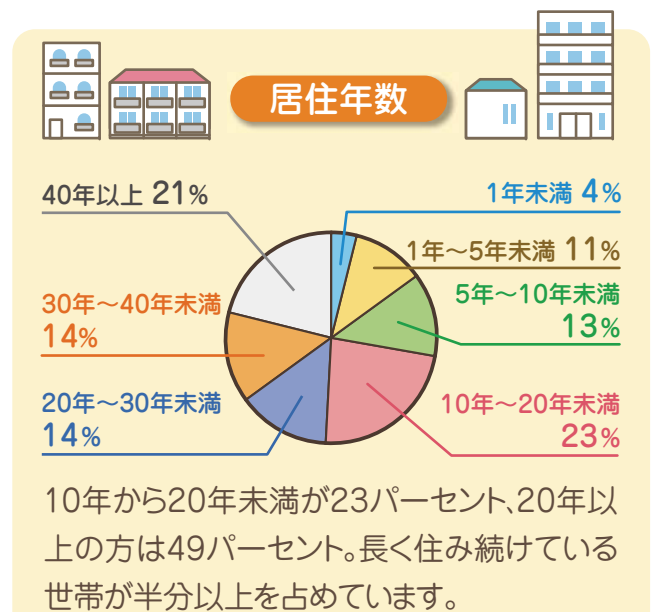
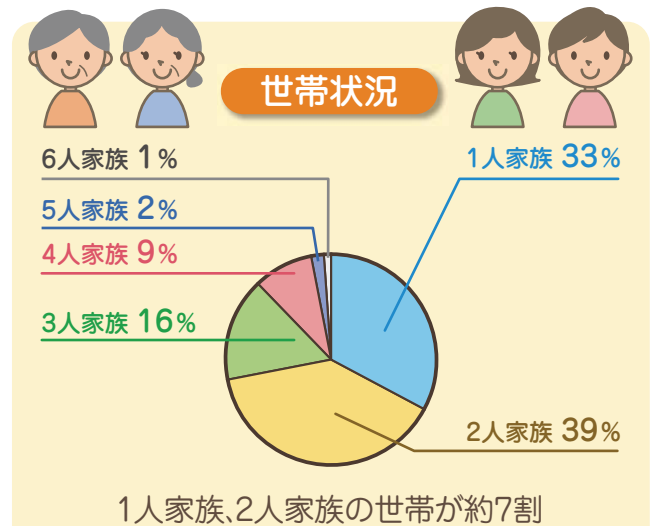
野庭住宅地区は こんな地域です

野庭住宅は、昭和47年から昭和50年にかけて、南北約1600m、東西約800mに及ぶ地域に、市住宅供給公社の野庭団地と混在して、6つのブロックに分かれる形で建設された市営住宅です。

総戸数は約3300戸で、市営住宅という性格上、転出入が多いという特徴があります。住民の異動が多いと、地域での人間関係が薄れてしまいがちですが、私たち野庭住宅地区では、近隣の気配りと、6つのブロックそれぞれにある自治会等のきめ細やかな活動で支えあいの地域づくりを目指しています。

| 総数 | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 6,877人 | | | |
| 0～14歳 | | 15～64歳 | |
| 738人 | 10.7% | 3,900人 | 56.7% |
| 65歳～74歳 | | 75歳以上 | |
| 1,494人 | 21.7% | 745人 | 10.8% |

※データ出典：平成22年国勢調査



※データ出典：平成27年4月住民アンケート

野庭住宅の 4つの目標

お互いが支えあい・助け合い、だれもが“のびじゅう”をふるさとと感じる いきいきと安心して暮らせるまちを目指して



目標 1 住民の交流・ふれあいの機会を大切にします

祭りや福祉フェスタなどの行事への参加だけでなく、準備や運営に関わることでの顔見知りを増やし、いざという時の助け合いに役立てましょう。

目標 3 一人ひとりができることをやり、みんなが担い手になります

地域の中で、みんなで活動することは満足感や達成感が得られ、また活動を通じて知り合いができたり、得るものが多くあります。色々な人が少しずつでも、できることをやっていきましょう。

目標 2 一人ひとりがつながり、みんなで地域を支えます

ひとりの人、ひとつの団体だけで出来ることは限られています。活動者・支援者同士がつながれば、取組がより活発になります。

つながることで、高齢者・子ども青少年・障がい児・者、手助けを必要とする方たちの見守り、支えあいの力を強めていきましょう。

目標 4 地域を知り、みんなで考え、情報発信します

野庭住宅にはいいところ、いい活動がたくさんあります。また、これからよくしていかなければいけないこともあります。

新しく引っ越してきた方なども含めてみんなで地域を知って、情報を共有しながら自分たちの手で素敵な街にしていきたいと思います。

住民アンケートから見えてきた地区の課題

アンケート調査で、野庭住宅地区に住んでいて「不安なこと」をお聞きしたところ、回答数が多い順に、右記の結果でした。

健康面や高齢に伴う老い支度、介護に不安を感じている人が多いようです。また、大規模地震が発生した際の防災や治安面にも不安を抱いています。

こうした不安を解消していくためには、＜野庭住宅の4つの目標＞で掲げた日頃からの交流やふれあいを大切にしながら、人とのつながりを大切に、みんなが担い手となり「できることをやる」、そのためには地域を知り、みんなで考えていくことが何よりも大切だと考えて目標を設定しました。

〈アンケート結果〉

- ① 健康
- ② 老い支度
- ③ 介護
- ④ 防災
- ⑤ 治安(防犯)
- ⑥ 認知症

野庭住宅地区 行動計画

平成28年4月～33年3月



防災・減災

～自助と共助で災害に備えよう～

自助

- 家庭備蓄や家具転倒防止対策
- 家族との連絡手段の確認

共助

- いੱつき避難場所の確認・呼びかけ
- いざという時の声かけ
- 隣近所の安否確認
- 防災訓練の参加



自治会防災訓練



家具転倒防止器具の取り付け、点検



見守り・支えあい

～いざという時、頼れる人を！～

- 階段ごとの日頃の見守り活動
- 食事会、高齢者サロン
- 訪問による安否確認
- 高齢者緊急マグネット「ひまわりSOS」の活用 ※民生委員が訪問時記入
- こどもの見守り(学援隊)
- 防犯パトロール



一人暮らし高齢者食事会



学援隊による、子どもの見守り

ふるさとと呼べるまち

～地域活動を未来に引き継ごう～

- 夏祭り・自治会もちつき
- 福祉フェスタ&チャリティバザー
- 防災訓練・おはよう清掃・公園愛護会
- グランドゴルフ大会・ピンポン大会・カラオケ大会
- 寿会・高齢者サロン・各種ボランティア活動



連合夏祭りに向けた太鼓の練習



福祉フェスタ&チャリティバザー

担い手の確保

～みんなで様々な活動を活発にしよう～

- あいさつ・声かけで顔なじみを増やす
- さまざまな手段を使って情報発信
- 今ある活動に参加して知り合いづくり
- 働きながらも、子育てしながらでも気楽に参加できる活動づくり
- 小中学校と連携し、子どもの頃からの地域活動への参加の働きかけ



野庭中吹奏楽部の演奏



ボランティア情報交換会